



新しい学年・新しい学校、新しい友達との出会い。期待がいっぱいの春休みを迎えました。

四日市の各地では物価高の影響を受けながらも、メニューを工夫したり、地元農家さんから規格外野菜をご提供いただいたりと、多くの方の力が集まり、こども食堂が開催されました。

こども食堂を通じて、子どもたちは食事だけでなく、地域の大人との交流や新しい体験を重ね、健やかな成長につながる時間を過ごすことができました。皆さまからのご支援が、こうした「子どもたちの安心できる居場所」を支えています。

夏休みに向け、こども食堂やこどもの居場所づくり 事業者への資金・物品支援の準備を進めています

長期休暇は子どもたちにとって楽しみである一方、家庭環境によっては孤立しやすい時期でもあります。夏に向けて、より多くの子どもたちを支えられるよう、引き続きご協力をお願いいたします。



障がいのある子どもたちの音楽ひろば「かなでーる」を継続的に支援しています



「かなでーる」は、障がいのある子どもや病気の子供たちが、歌や踊り、楽器演奏などを通して表現活動を行っています。月1回の定期活動のほか、踊りフェスタやにじいろこんさ~となども含め年に数回のイベントに出演しています。

いただいた支援金は楽器の購入や演奏のホール代、装飾代にさせていただきます。



Pick UP

「こども食堂を始めたきっかけ」について聞きました！

子ども食堂四つ葉SK

四つ葉SKは、あえて地元から少し離れた四日市駅近くの鶴の森で活動しています。

学生ボランティアが一人でも通いやすい・利用者が「知り合いに会わずに参加できる」安心感がある。この「距離感」が、子ども達にとっても大人にとっても、気持ちを軽くしてくれる大切な要素になっています。

代表・松岡さんは、ご自身の経験から「不登校や障がいのある子ども達が安心して過ごせる居場所をつくりたい」という思いで活動を続けてこられました。学習支援の場づくりから始まり、その延長線上に“こども食堂”が生まれています。活動を支えているのは、かつて利用者として出会った学生たち。成長した彼らが「また関わりたい」と連絡をくれ、今はボランティアとして子ども達を支える側に立っています。

不登校の子ども達にとっての「社会とのつながり」

松岡さんは、こども食堂を続ける中で「ここに来ることが、社会とつながり続けるきっかけになっている」と日々感じているそうです。家でも学校でもない“第三の居場所”があることで、子ども達は自分のペースで人と関わり、安心して過ごす時間を持つことができます。

ご支援企業の皆さまへ

四つ葉SKの活動は、皆さまからのご支援によって支えられています。いただいた支援は子ども達の食事や居場所づくりに確実に活かされています。心からお礼申し上げます。



News

四日市ロータリークラブの皆様、

温かいご支援・ご協力心から感謝申し上げます

四日市ロータリークラブの例会で、四日市子どもポータルの取組みをお話させていただきました。

今回 支援金をお届けした23団体様

(順不同)

●河原田こども食堂ねこまちプレイス●
●楠まちキッチン●●三重はぐくみサポート●
●羽津子供食堂『&ゆう』●こども食堂さくら●
●おり〜ぶ●桜子こども食堂nico●
●チェリーズカフェ●子ども食堂四つ葉SK●
●さくらパントリー●●三重西児童館●
●みんなにこ●●よってこ保々●●嘉喜家●●
●同じ釜のごはん食べよう会●●いろあいく●
●スマイルジム●●ニコニコ共和国●●海蔵こども食堂あいなし●
●和っはっは●●常盤こども食堂●●かなでーる●●赤ちゃん食堂バンビ



HOUSE CRAFT



子育て応援企業増えてます

四日市子どもポータルでは地元の子育て応援企業を紹介しています。バナーは各企業様のホームページなどへつながるリンクとなっています。こども食堂の現場にも掲示いただけるよう印刷してお渡ししています。こうした企業が私たちの生活を支えてくれるんだよ、と子ども達にお話いただくこともあるようです。